

令和7年度第1回 多度津町男女共同参画推進会議 会議録

令和8年2月20日作成

1 日 時	令和8年2月12日(木) 18:00 ~ 19:10
2 場 所	多度津町地域交流センター 1階 ルーム1
3 出 席 者	委員13名(欠席3名)、事務局4名
4 役 員	会 長：中野 一郎 氏 副会長：野間 美津子 氏 ※ 令和6年度に委員の互選により決定済み
5 審議内容	(1) 第4次たどつ男女共同参画プラン(案)について (2) その他
6 結 果	(1) 第4次たどつ男女共同参画プラン(案)について ① 第4次たどつ男女共同参画プラン(案)の内容について ・事務局から、男女共同参画プランに関する説明と、第4次プランの内容について説明があった。 ・その後、委員から意見の提示や質問があった。 ⇒ (委員A) 質問 ・外国人について計画で触れられているが、男女共同参画とどういった関係があるのか。就労で一時的に入国している外国人も含むのか。 (事務局) ・男女共同参画社会の基盤となるのは「人権の尊重」である。外国人を含め、さまざまな属性の方の人権を尊重する社会が前提となるので、計画で触れている。外国人の人権に関しては、就労での一時的な入国者も、定住者もいずれも対象となる。 ⇒ (委員B・C) 意見 ・国は大きな予算をつけて、県や市町村にお金を落としていると思うが、効果が表れているとは思えない。なかなか進歩が感じられない。 ・労働人口が足りていないのに、女性の社会進出が低い状況がある。人手不足とはよく言われるが、家庭にいる女性は多い。こうした環境を是正する具体的な仕組みづくりを、町でも進めていけないのか。

## 6 結果

- ・具体的な目標がないと思う。何年も先のことも大事だとは思いますが、「今」すべきことを考えて、「こういう取組をしたから、こういう結果が得られました」というものを目標として設定した方が良いのではないか。
- ・計画は手段であって、具体性がない。町民が何をすべきかが分からない。

### (事務局)

- ・町では、今年度、町内企業の協力を得て、国（内閣府）が実施している「理工チャレンジ教室」の事業を活用した。女性の力によってイノベーションを創出して社会課題を解決していくための取組として、効果的であったと考えている。
- ・アンケートの結果から、雇用や勤務の面で女性と男性の勤務環境に差があることは明らかで、それが是正されないままとなっていることは問題である。ただ、事業を起こしたからといってすぐに数値の改善につながるというものではないので、企業への啓発に努めていく。
- ・本プランでは、基本目標に沿って基本施策を掲げ、それに応じた施策や取組を記載している。行政の計画なので、どうしても大きなものを掲げていて、具体性に欠けるというご指摘はあるかと思うが、このプランに沿って、情報源であり根拠となる客観的な数値を把握しながら、具体的な施策や取組を検討し、実行していくようにしたい。

### ⇒ (委員D) 意見

- ・人口減少や少子化については、問題として言われ続けているけれども、なかなか解決ができていない。
- ・アンケートなどのさまざまな調査を行って、町民の意見を聴いて政策に結びつけているとは思いますが、もっと、いろいろな世代が意見を出し合える場を作ってもらいたい。

### (事務局)

- ・多様な意見を吸い上げる手法については、今後研究を行いたい。
- ・議長（会長）から事務局に対し、委員の意見を踏まえて今後の取組を検討してもらいたいとの要請があった。
- ・第4次プランの内容に関しては、現行の（案）の内容を基本として進めることについて、委員からの異議はなかった。

## ② 第4次たどつ男女共同参画プランのキャッチフレーズについて

- ・住民アンケートで寄せられた65件の候補の中から第4次プランのキャッチフレーズを1つ選出する。

6 結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議長（会長）の提案により、各委員 3 票で投票し、多数決により決定することになった。</li> <li>⇒ (委員 E) <ul style="list-style-type: none"> <li>・今の時代、男・女という言葉が入っているようなものは、キャッチフレーズとしてふさわしくない。</li> </ul> </li> <li>(議長) <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員 E の意見に異議がなければ、このことを踏まえて検討をお願いします。 ※ 他の委員からの異議なし。</li> </ul> </li> <li>⇒ 【 結果 】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8 票を獲得した、「誰もが自分らしく、いきいきと」が第 4 次プランのキャッチフレーズとなった。</li> </ul> </li> <li>・議長（会長）から事務局に対し、キャッチフレーズを第 4 次プランに反映させるように要請があった。</li> <li>(2) その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局からの議題は特になし。</li> <li>・委員からの提案議題も特になし。</li> </ul> </li> </ul>
7 その他	特になし